

【目指す教師像】

- ① 教育目標・学校経営方針のもと、全教職員一丸となって全生徒を育てる（チームただおの一員）
- ② 時代のニーズにあった研究・修養に励み、意識・行動改革を図る教師（向上心）
- ③ 校内全般の整理・整頓、机上整理を徹底し、新校舎を美しく保つ教師（美しい環境）
- ④ 生徒の人権を尊重し、生徒に寄り添い、共に考え、生徒の自己実現を支える教師（生徒愛）
- ⑤ プロ教師として、自身の指導力を伸ばし、協調性のある教師（職場の和を大切に）

【目指す学校像】

- ① 全ての教職員がチームただおとして組織的に協働する学校
- ② 生徒の人権や個性が尊重され、一人一人が真に大切にされる学校
- ③ 生徒が、生き生きと学び活動し、生徒の笑顔があふれる学校
- ④ 保護者が、信頼して子どもを任せられる安全・安心な学校
- ⑤ 地域が誇れる、明るく開かれ親しみのもてる学校

【目指す生徒像】

- ① 自他の生命を尊重し、たくましく生きる生徒 … **自他尊重**
- ② 自ら考え判断し、行動できる生徒 … **自学創造**
- ③ きまりや規律を重んじ、社会性を身に付ける生徒 … **自主自律**

教育目標

知性を磨き、高い学力を付ける

心情を培い、正しい判断力を付ける

意志を鍛え、たくましい実践力を付ける

教育基本法 第一条

教育は、人格の完成を目指し、平和的で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身共に健康な国民の育成を期して行わなければならない。

領域1 「社会に開かれた教育課程の実現」

- ◎ 保護者や地域から**信頼される学校づくり**
- ◎ 保護者や地域との双方向による**連携体制の構築**

COMMUNITY

【成果指標】

- (1) 積極的な情報発信 保 70%以上
- (2) 放課後学習教室等の推進 保 70%以上
- (3) 保護者への連絡・相談 保 70%以上
- (4) 貢献しようとする態度 保 70%以上

領域2 「健やかな体の育成」

- ◎ 信頼して子どもを任せられる**安全・安心な学校**
- ◎ **体力向上**に向けた取組の推進

HEALTH

【成果指標】

- (1) 危機管理情報の共有 保 70%以上
- (2) 命・健康を守る取組 保 70%以上
- (3) 熱中症等の事故防止 保 70%以上
- (4) 体力・健康づくり 保 70%以上

領域3 「豊かな心の涵養」

- ◎ **人権尊重**の理念を理解した適切な指導の徹底
- ◎ すべての生徒を対象とする**特別支援教育の推進**

KINDNESS

【成果指標】

- (1) 生命を大切にする気持ち 保 70%以上
- (2) 暴力による解決を否定 保 70%以上
- (3) 自他を思いやる心の醸成 保 70%以上
- (4) 校内委員会の充実 保 70%以上

領域4 「確かな学力の育成」

- ◎ 「**学び続ける力**」を育むための授業改革
- ◎ 生徒の**学習意欲の向上**

ABILITY

【成果指標】

- (1) 主体的・対話的で深い学び 保 70%以上
- (2) 学習意欲を高める授業改革 保 70%以上
- (3) 美しい教室環境を推進 保 70%以上
- (4) 英語教育の充実を図る 保 70%以上

具体的な取組

- ① コミュニティ・スクールとして学校運営協議会を年間5回以上設定し、学校が地域の方々と一緒に目標やビジョンを共有する。また、本校の教育方針・教育活動等を保護者や地域の方々に正しく理解していただくための**学校公開の設定、保護者会・各種お便り・学校ホームページ（経営支援本部）等を活用し、積極的に情報発信する。**
- ② 経営支援本部を中心に、**地域人材や地域環境を積極的に活用した「ただお塾（放課後学習教室）」、「花\*花サークル」「ほっとる一む（生徒の居場所づくり）」等を推進する。**
- ③ **保護者との連携体制を構築**するために、保護者への連絡・相談を誠実に且つ細やかにし、迅速に対応する。
- ④ **生徒及び教職員が地域行事等（忠生子どもフェスティバル、忠生市民センターまつり、忠生マラソン祭り）へ積極的に参加する。**生徒会における自治的活動や、校内・地域・連携小学校等での自発的なボランティア活動を通して、学校及び地域社会に、構成員の一員として主体的に参画し、貢献しようとする態度を育成する。
- ⑤ 小中連携の充実（共有と共通実践）を図るために授業交流や研究授業の交流を推進する。そして、授業参観を通して、互いの児童生徒の実態を観察し、共有と共通実践を推進する。

具体的な取組

- ① 自他の**生命を大切にする気持ちや人権尊重の精神を育む指導を最優先**する。
- ② 生活指導部を中心に危機管理情報を校内で共有し、迅速に対応する。**いじめ発生時は「学校いじめ対応チーム」を早急に開催する。**
- ③ 基本的な生活習慣等の大切さを自覚させるうえで「安全教育プログラム」「SNS東京ルール」等を活用し、健康な心身と忍耐力をもてる生徒を育てる。
- ④ 熱中症事故の未然防止を徹底し、保健体育科の授業や学校行事、部活動等の指導を通して、生徒が運動に親しむ機会を確保する。
- ⑤ 体育の授業や体育的行事、部活動、**昼休みの外遊び等、教育活動全体を通して体力・健康づくりを進める活動を充実**させる。
- ⑥ 生徒の自己実現の場の一つとして部活動を適切に実施し、達成感・充実感を体験させ、忍耐力・協調性等を育み、学校生活への意欲を高める。
- ⑦ 「安全教育プログラム」を活用した年間指導計画に基づき、毎月の安全指導日で生活指導だよりによる生活・交通・災害の3領域の指導を徹底する。Jアラート発令時や二次避難場所の対応を確認し、訓練で実践する。また、浸水及び土砂災害を想定した避難確保計画に基づいた引き渡し訓練を実施する。

具体的な取組

- ① **自他の生命を大切にする気持ちや人権尊重の精神を育む指導を最優先**する。DVD教材等も活用してSOSの発信に関する指導を行う。
- ② **いかなる理由があっても暴力による解決を否定し、一人の人間を尊重して社会の平和に参画できる生徒を育むために平和教育を推進**する。そのために平和教育に関するゲストティーチャー（原爆被害の語り部さん等）を招き、体験談を聞き平和への意識を高める。
- ③ 「特別の教科 道徳」を中心に、学校の教育活動全体を通して心の教育を推進する。こうした取組を通して、生徒に**自他の人権を尊重し、多様性を肯定的に受容する高い人権意識を育み、自ら考え、他者と協働できる豊かな心**と思いやりのある生徒を育てる。
- ④ 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図り、保護者・関係機関等と連携し、生活や学習上の困難の克服・改善に向けた指導・支援を全教職員が共通理解し実践する。
- ⑤ 町田市教育委員会特別支援教育モデル校として、「**誰一人取り残さない授業づくり～学校全体で取り組むポジティブ行動支援を取り入れて～**」を研究テーマに障がい理解教育の充実を図り、「心のバリアフリー」を推進する。ポジティブ行動支援を取り入れて、生徒の望ましい行動を増やす。

具体的な取組

- ① 授業を大切にし、chromebookの活用及び学習のめあての設定を重点に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、知・徳・体のバランスのよい生徒を育てる。また、話し合い活動は原則として1グループ3人から4人で行う。
- ② 生徒の学習意欲を高めるための授業改革を図るために、「身に付けさせたい力」を明確にした**指導計画・評価計画に基づく意図的・計画的な授業を展開**する。授業改革により、**生徒一人一人の学力を向上させる授業を実践**する。
- ③ 授業をデザインする8つの取組のうち「**見通しをもたせる導入」「価値ある対話の共有」「振り返りの設定」「ICT機器の活用**」を重点に、生徒が主体的・対話的で深い学びを実現する学習環境を整え、自ら考え、表現する生徒を育てる。
- ④ 特別支援教育に関する校内研究を生かし、障がいについての理解、生徒理解、ユニバーサルデザインの視点に基づいた指導力の向上及び、学習環境の整備に取り組む。**特に教室環境の整備に力点を置き、美しい教室環境を推進**する。
- ⑤ 「ただお国際理解プログラム」は、第1学年に立川 TOKYO GLOBAL GATEWAY、第2学年に福島ブリティッシュヒルズ、第3学年に修学旅行でのスピーキング行方など、外国人との英語体験学習を意図的に行い、話せる英語教育の充実を図る。